

## 第5学年 総合的な学習の時間「布佐学習」活動案

我孫子市立布佐小学校

指導者 喜屋武 譲

大類 友里子

### 1. 題材名 布佐学習「かなえよう町づくりの思い」

### 2. 題材について

#### (1) 題材観

児童は、4年生で過去の水害とその対策について学んだことで、布佐でも住みよい町づくりが進められてきたことに意識が向けられた。それまで、町の様子について「知る」活動を行なったり、人々の「思い」に触れたりしてきた段階から、町づくりの「思い」について、主体的に意識し始める段階に入ったといえる。

そこで5年生では、布佐地区の町づくりの歴史や成果に触れることで、そこにある人々の「思い」についてはっきり意識させていきたい。なぜそれがなされたのか、それに関わってきた人々の思いはどんなものだったのか。このことについて主体的に考えていくことで、今の自分たちの生活が、いろいろな人々の知恵や努力によって支えられていることに気がつくと考え。

取り掛かりとして、4年生の時の活動に関連させる意味で、布佐の水害対策や干拓事業に尽力した井上二郎氏について調べ、氏の布佐に対する思いを想像させたい。これは、中学校との連携である「ふさカリキュラム」の一環でもある。この活動を発端として、布佐地区にある町づくりの歴史や成果に目を向けさせ、その背景について調べ、そこにある人々の「思い」を想像させたい。その上で、その思いを引き継いでいったり、あらたな思いを持ったりする活動へとつなげたい。それによって、地域の人々とのつながりを意識し、その人々への感謝の気持ちを持つようになり、地域に愛着を持つ、心情豊かな子どもに育っていくと考える。

#### (2) 児童の実態

(1組 男子11名 女子8名 2組 男子12名 女子8名 学年計39名)

##### ①布佐の町は好きですか。

はい(22名) いいえ(0名) どちらでもない(15名)

##### ②布佐のどんなところが好きですか。

お祭り(7名) お店(3名) 人が優しい(3名) 人が少なく静か(2名) 自宅(2名)  
古くて歴史がある(2名) 地域の人たちが協力してなりたっている(1名) 公園(1名)  
竹内神社(1名) 自然が多い(1名) いろいろな行事(1名) 友達がいる(1名)  
楽しい(1名) 目立たない(1名) 全部(1名)

##### ③布佐の街の自慢できる場所はどこですか。

竹内神社(7名) 学校(4名) お祭り(2名) ふさの風(2名) 利根川(2名)  
公園(2名) ひとが優しい(2名) みんなが仲がいい(1名) あいさつができる(1名)  
元気(1名) 自然が多い(1名) お寺(1名) 観音堂(1名) あげぼの橋(1名)  
古い事業所(1名) 武道会館(1名) おいしいお店(1名) ふくのかみ(1名)

ピカピカする家（1名） 新しい車（1名） 全部（1名）

④岡田武松さんを知っていますか。

はい（24名） いいえ（13名）

⑤岡田武松さんについて知っている事はなんですか。

天気について調べた（2名） 気象台を作った（2名） 日本で初めて天気予報をした（1名）  
気象台公園に気象台の建物をたてた（1名） 天気予報で有名（1名） 天気の人（1名）  
天気について何かした（1名） 台風という言葉を作った（1名） 台風を開発した（1名）  
布佐小に通っていた（1名）

⑥井上二郎さんを知っていますか。

はい（21名） いいえ（15名）

⑦井上二郎さんについて知っている事はなんですか。

手賀沼のかいたく（3名） 手賀沼のかんたく（2名） 水田を作った（1名）

⑧柳田邦男さんを知っていますか。

はい（2名） いいえ（32名）

⑨柳田邦男さんについて知っている事はなんですか。

<無回答>

⑩あなたの知っている布佐の街の有名人を教えてください。

岡田武松（3名） 井上二郎（2名） 柳田邦男（1名） 校長先生（1名）  
教頭先生（1名） 先生たち（1名） その他（1名）

⑪千葉県の中で、布佐はどの位置にあるのか知っていますか。

はい（27名） いいえ（10名）

⑫我孫子市の中で、布佐はどの位置にあるのか知っていますか。

はい（24名） いいえ（12名）

⑬わからないことがあった時、どのように調べ学習を行いますか。

本・図書館（13名） インターネット（11名） 人に聞く（6名） 先生に聞く（6名）  
友達に聞く（6名） 家族に聞く（2名） 復習する（1名） 考える（1名）

⑭どんな発表の仕方を知っていますか。

模造紙などの紙に書く（7名） 紙芝居（1名） 本にする（1名） 資料を使う（1名）  
その他（11名）

⑮みんなの前ではっきりと発表することができますか。

できる（7名） できない（7名） どちらでもない（19名）

5年生は元気で活発な児童が多く、男女間のコミュニケーションも違和感無く行われている。明るく素直な雰囲気を持つが、精神的に幼く、自己中心的な言動があったり、周囲への気配りができなかつたりすることも多い。

上記のアンケートからは、布佐の町を気に入っていることや、少ないながらも人々の優しさなどに気づいている傾向が見られる。今回の学習活動で人々の思いを確認できれば、さらにこの傾向が強まるだろう。ただし、歴史的な事柄については、はっきりとした知識を持つ児童が少ないので、資料を提示した上で、ワークシートに記入させるなどの活動で、ある程度の定着を図るべきだろう。

### (3) 指導にあたって

井上二郎氏について調べ、氏の思いを想像することを皮切りに、布佐の町を作り上げてきたものについて考えさせていきたい。その後、ゲストティーチャーを迎え、布佐についてのお話をしただき、フィールドワークを行うことによって布佐の町の概要を捉えさせたい。その上で、取り組むテーマを考え、グループに分かれて調べ学習を進めさせていくことを考えている。例として、①井上家、②昔の布佐、③竹内神社と祭り、④ふさの風、⑤学校 等が考えられる。その活動をふまえて、それぞれに関わる人々の「思い」について想像していき、まとめをしたい。

さらに、学習したことの発信として、3学期のふさっ子フェスタに向けた活動に取り組みせたい。調べたことや考えたことを形にして、地域や保護者の方々に知らせていくものである。

### 3. 題材のねらい

○布佐の地域の特色から課題を見つけ、主体的に課題を解決する力を育成する。

- ・地域の人々との関わり合い、布佐の良さや自分の良さを見つめ直すことができる。  
(課題への関心・意欲・態度)
- ・布佐の地域の調査から地域の自然や歴史に関心を持ち、その良さに気づくことができる。  
(課題追求能力)
- ・調査したことや資料から適切な情報を集め、考えを整理し、表現することができる。  
(情報活用能力) (表現力)

### 4. 活動計画 (25時間扱い)

過程	時間	学習活動と内容	評価規準
つかむ 2	1	○井上二郎について調べる。 ・年表に書き込む。	・井上二郎の業績を理解し、思いを想像できたか。
	1	○年表から思いを想像する。 ○プロジェクト学習について知る。(本時 2/25) ・学習の見通しを持つ。	・活動のめあてを理解し、見通しを持てたか。
ふれる 7	1	○布佐の町を知る。 ・GTのお話を聞く。	・町の概要について理解できたか。
	4	・GTとのフィールドワークを行う。	・新たな気づきや疑問が持てたか。
	1	○テーマを決める。(グループ分け)	・布佐について課題を持てたか。
	1	○ゴールを決める。(計画作成)	・ゴールを決め、計画を作れたか。
追求する 6	6	○計画に従って活動する。(調査, 企画) ・フィールドワーク, インタビュー ・インターネット ・企画検討	・計画に従って積極的に活動できたか。
まとめる 5	3	○調べたものや企画したものをまとめ、中間発表の準備をする。	・必要な情報でまとめているか。 ・効果的な発表のための工夫ができたか。
	2	○中間発表をして評価し合う。	・良いところを認め合えたか。

広める 5	2	○発表の修正を行う。	・積極的に修正できたか。
	2	○ふさっ子フェスタで発表する。	・わかりやすい発表ができたか。
	1	○次年度の活動とのつながりを知る。	・町づくりについて意識できたか。

## 5. 本時の指導

### (1) ねらい

- ・井上二郎氏の思いを踏まえて、人々の布佐への思いについて意識することができる。
- ・プロジェクト学習について、学習の目的や、テーマの設定、ゴールの持ち方が理解できる。

### (2) 展開

時配	学 習 活 動 と 内 容	・支 援 *評 価
5	1. 前時の活動を振り返る。 ・井上二郎氏について調べ、年表に書き込んだ。 ・井上二郎氏の布佐への思いを想像した。	・前時に作成した年表の拡大資料や、井上二郎氏の思いについての意見をまとめたものを提示する。
5	2. 水害対策の活動や施設に込められた人々の思いを想像する。 ・大きな被害が出ないようにする。 ・洪水になったときのために備える。 ・みんなの命や生活を守る。	・4年生の活動から想起させる。 ・人々の思いが込められていることを確認する。
1	3. 本時の目標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">人々の布佐への思いを見つけよう。</div>	
10	4. 布佐の町に古くからあるものや行事、活動、または施設を考える。 ・竹内神社と祭り           ・新緑まつり ・ふさの風           ・宮の森           ・公園 ・交番           ・消防署           ・駅 ・学校           ・お寺           ・保育園 ・お店           ・交通指導           ・信号	・今までのフィールドワークや生活体験から想起させる ・布佐の拡大地図を提示
10	5. それぞれについて、人々のどんな思いがこめられているのか想像してみる。 ・安全な暮らし           ・みんなが楽しむ ・便利な生活           ・仲良く暮らす ・長生きできる	・小グループで話し合わせ、できるだけ多くの児童が意見を出せるようにする。 *人々の布佐への思いについて意識することができる。

1 3	<p>6. プロジェクト学習「布佐学習」について知る。</p> <p>○学習の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布佐の町を調べて、人々の町づくりの思いを見つけ出す。それについてみんなで考える。</li> </ul> <p>○テーマの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町づくりの思いについて考え、グループに分かれる。</li> </ul> <p>○ゴールの持ち方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに向けて、自分たちでできることを考え、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この学習活動は、3学期までの長期的な流れであり、しっかりした計画が必要なことを知らせる。</li> <li>・G Tを迎えて話を聞いたり、フィールドワークを行ったりすることを知らせる。</li> <li>・布佐がどうなってほしいか、そのために自分たちができることを考え、それに取り組むことを知らせる。</li> </ul> <p>*プロジェクト学習について理解できたか。</p>
1	<p>7. 次時の内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布佐の町の概要をつかむために、G Tを迎えて話を聞く。</li> <li>・その後、フィールドワークも行う。</li> </ul>	

(3) 板書計画

井上二郎氏の年表等の資料	<p>人々の布佐への思いを見つけよう</p> <hr/> <p>古くからあるものや行事活動、または施設</p> <hr/> <p>それぞれに込められた人々の思い</p>	<p>学習の目的</p> <hr/> <p>テーマの設定</p> <hr/> <p>ゴールの持ち方</p>
--------------	--	---

他の掲示物として

布佐の拡大地図
---------

## ○講師の指導

- ・活動計画の「つかむ」の過程が2時間扱いたが、「布佐カリキュラム」の4時間をあてて活動させたほうが、より深まり、わかりやすかったのではないかと。また、より身近な題材を考えることも出来たのではないかと。
- ・神社やお寺、保育園等は一般的なもので、布佐だけのものではない。布佐独自のものを取り上げて活動させたい。
- ・全体に一問一答になってしまっていた。一人の児童の発言に他の児童が発言を重ねていくような、答えがつながっていく「一問多答」を目指して欲しい。
- ・教師の思いが伝わるように、次の点に留意して欲しい。
  - ①「ここでは何を学ばせたいのか」を吟味し、「わかる・できる授業」を展開する。
  - ②遊び心を入れる。教師がお面をかぶって人物の思いを語るというような劇をするなど、興味を抱かせるような工夫をしていきたい。
- ・布佐の人々の「思い」は大切だがその思いにとらわれず、調べていく中で児童自身が発見した事実や感じたり考えたりしたこと等、「自分が伝えたいこと」を発信させたい。
- ・TTの在り方について 授業の場面による分類
  - ①導入：二人の教師による寸劇や演示。一人が課題提示、他方が観察。
  - ②調べる：一人が全体指導、他方が個別指導を必要とする児童への支援。
  - ③深める：上記の方法の他に、他方が意図的に間違いや思考を戸惑わせる意見を言い、話し合いを活性化させる。

## ○成果と課題

### (1) 成果

- ・地域のことを見つめ直すために、ゲストティーチャーを迎えて地域学習に取り組んだ。このことで、神社や遺跡、昔の生活の名残に触れることができた。児童が、布佐の歴史を意識するようになった。
- ・布佐の人々の思いを理解した上で自分たちの思いについて話し合うことで、普段何気なく生活している状況について問題意識を持てるようになった。身の回りのことについての課題を見つけ出すことができた。
- ・調べたことをまとめ、発表する中で、国語の学習で取り組むプレゼンテーション活動の内容がそのまま役立てることができた。

### (2) 課題

- ・児童の中で問題意識の持ち方や理解の深さに大きな差が認められる。低位の児童間でも性格が違っているので、話題の提示や問いかけ、個別の支援など、様々な工夫が必要となる。
- ・見つけた課題に対して、どのように達成・解決していくかについての思考が深まらなかった。具体的な方法の例示等、考えやすくわかりやすい方法をとっていく必要がある。

資料

☆授業の様子



今までのフィールドワークや生活体験から、布佐のまちに古くからあるものや行事、活動、施設について考えている。



人々の思いを想像する。

- ・安全な暮らし
- ・仲良く暮らす

- ・便利な生活
- ・長生きできる

・みんなが楽しむ



グループで話し合い、意見を出し合う。自分が想像した思いを発表する。